

第 180 回 学長定例記者会見

日時：令和 7 年 6 月 23 日（月）14：30～15：00

場所：広島大学 広仁会館 中会議室（広島市南区霞 1-2-3）

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 広島大学オープンキャンパス 2025 を開催します（8 月 7 日、8 日開催）
2. 「Peace Study Tour 2025」を開催します（8 月～9 月開催）
3. デジタルものづくり教育研究センターにおける被爆 80 年企画
PRIDE of HIROSHIMA スピンオフ
広島大学×マツダ 被爆からの復興 80 年写真展を開催します
（7 月 25 日～8 月 21 日開催）

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取り組み
に関する報告
2. 小中学生のための先端科学体験セミナー
ー放射光科学研究所での夏休みおもしろ科学体験！ー
（7 月 27 日、8 月 3 日、8 月 5 日開催）
3. 広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備工事起工式を行いました
（6 月 23 日実施）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 7 年 7 月 25 日（金）

場所： 広島大学 東広島キャンパス

第 180 回 学長定例記者会見 発表事項 1

令和 7 年 6 月 23 日

広島大学オープンキャンパス 2025 を開催します

本年度のオープンキャンパスは、例年どおり本学の 3 つのキャンパスで開催します。

広島大学サタケメモリアルホールの全体プログラムでは、学長基調講演のほか、在学生による大学紹介や、大学説明会を行います。各学部で実施するプログラムは高校生・受験生を対象としますが、全体プログラムは保護者の方にも是非ご参加いただきたい内容です。申込みは個人による事前申込制で、7 月 1 日（火）正午からオンラインで受付を開始します。

昨年度は約 11,500 人の方にご参加いただきました。本年度も、広島大学の魅力をより知っていただけるためのプログラムをたくさん準備していますので、本学に興味・関心をお持ちの高校生・受験生の、多くのご参加をお待ちしております。

開催日：8 月 7 日（木）、8 日（金）

場 所：東広島キャンパス（東広島市）、霞・東千田キャンパス（広島市）

内 容：①学部別プログラム

（学部・学科紹介、模擬授業、研究室紹介、個別相談等）

②全体プログラム

（学長基調講演、在学生による大学紹介、大学説明会）

事前申込期間：7 月 1 日（火）正午～7 月 10 日（木）17 時

時間	8 月 7 日（木）	8 月 8 日（金）
①学部別プログラム（東広島キャンパス・霞キャンパス・東千田キャンパス）		
※事前申込期間に申込可能な学部・学科等は 1 つのみです。 ※定員に空きがあるプログラムについては追加申込を受け付けます。 追加申込では、複数の学部・学科等への申込が可能です。		
10:00-12:00	東広島キャンパス 総合科学部、文学部、理学部、工学部、情報科学部	東広島キャンパス 教育学部、経済学部（昼間コース）、工学部、生物生産学部
14:00-16:00	霞キャンパス 歯学部 東千田キャンパス 経済学部（夜間主コース）	霞キャンパス 医学部、薬学部 東千田キャンパス 法学部
②全体プログラム（東広島キャンパス：広島大学サタケメモリアルホール）		
10:30-11:30	大学説明会	
12:15-13:45	学長基調講演・在学生による大学紹介	
14:30-15:30	大学説明会	

※各学部の実施内容を、一例としてご紹介します。

■総合科学部（総合科学科）

模擬授業（人間探究領域・自然探究領域・社会探究領域）、学生による体験談の紹介

■文学部

学部概要紹介、模擬授業（西洋史学・考古学）、研究室公開、教員・学生による個別相談

■教育学部（第三類・多文化・グローバル教育学プログラム）

プログラム説明、学生からのメッセージ、留学生との交流アクティビティ、質疑応答

■法学部

学生による学生生活紹介、法曹に関する説明、検察庁の業務に関する説明、模擬授業

■経済学部（昼間コース）

模擬授業、学部概要説明、学生による学部紹介（学生生活など）、学生の相談コーナー

■理学部（物理学科）

放射光科学研究所見学（模擬実験など）、東広島天文台見学（四次元シアターなど）

■医学部（保健学科看護学専攻）

専攻紹介、施設見学会（VR教材体験・分娩介助演習など）、進学相談会

■歯学部

学部概要説明、学科・専攻概要説明、研究室紹介・設備の見学、個別受験相談

■薬学部

学部概要説明、入試説明、学生からのメッセージ（薬学科・薬科学科）、質疑応答

■工学部（第三類）

類・プログラム紹介、学生による学生生活紹介、個別相談・自由見学（研究室見学など）

■生物生産学部

模擬授業、入試説明、学生によるキャンパスライフ紹介、各プログラムのパネル展示

■情報科学部

学部概要説明、入試説明、模擬授業コース、体験イベントコース（デモ展示など）

※スケジュール等の詳細は、広島大学オープンキャンパスサイト
(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/oc/>) をご確認ください。

＜昨年度のオープンキャンパスの様子＞



【お問い合わせ先】

教育室教育部入試グループ 景山 淳史
TEL:082-424-4656 FAX:082-424-6180



広島大学

OPEN CAMPUS

広島大学
オープンキャンパス
2025

現地開催 / 事前申込制



◀オープンキャンパス特設サイト



8

7

THU.

8

FRI.



東広島市

東広島
CAMPUS

総合科学部 / 文学部 / 教育学部 / 経済学部 (昼間)
理学部 / 工学部 / 生物生産学部 / 情報科学部



広島市

霞
CAMPUS

医学部 / 歯学部 / 薬学部



広島市

東千田
CAMPUS

法学部 (昼間・夜間主) / 経済学部 (夜間主)

注目の取り組み①

全国10大学
中国四国エリアは広島大学が唯一選定

高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援

文部科学省
「高度医療人材養成拠点形成事業
(タイプA)」に選定

- point1 医学生や医学系大学院生が臨床実習や研究に参画
- point2 教育研究支援者の活用による研究体制の強化
- point3 臨床教育・研究分野の知識や技能に優れた医師の養成

注目の取り組み②

全国7大学
中国四国エリアは広島大学が唯一選定

令和5年度 大学・高専機能強化支援事業

「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援(ハイレベル枠)」に選定

- point1 中国四国エリア最大規模の情報系大学院課程を構築
- point2 大学院・学部の情報系定員増員 & プログラム新設
- point3 地域・世界とのネットワークをさらに強化

広島大学で
夢をつかもう

「THE Awards Asia 2025※」で2部門の大賞を受賞!

※THE: Times Higher Education

アジアの舞台で世界に認められた卓越した取り組み

2部門の
大賞受賞は
日本初

受賞1 International Strategy of the Year (国際戦略部門)

受賞2 Outstanding Contribution to Environmental Leadership (環境リーダーシップへの顕著な貢献部門)

令和 7 年 6 月 23 日

「Peace Study Tour 2025」を開催します

広島大学は、平和を祈念する重要な日である 8 月 6 日前後から 9 月中旬にかけて、本学の協定校を中心とした海外の大学から学生を招き、10 日間から 2 週間程度のサマースクール「Peace Study Tour 2025」を実施します。

本ツアーでは、地球規模の多様な課題をテーマに複数のプログラムを実施します。参加者は、講義、ディスカッション、グループワーク、フィールドワークなどを通じて、多様なバックグラウンドを持つ学生たちと協働しながら学びを深めます。そして、全てのプログラムを横断的に実施する平和学習においては、広島市で開催される平和記念式典への参列、平和記念資料館の見学、被爆体験証言者・小倉桂子様による講話の聴講等を通じて、平和の尊さを体感します。

なお、本ツアーは 2023 年度に初めて開催され、第 3 回目を迎えます。今年度は、これまでよりも大幅に参加人数が増え、16 か国から 140 人を超える大学生の参加を予定しています。特に今年は、被爆 80 周年という節目の年にあたり、特別講師としてノーベル平和賞を受賞された日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の箕牧 智之（みまき としゆき）代表委員をお迎えするなどして、以下の 6 つのプログラムを展開いたします。箕牧理事長は下記①～③のプログラムでご自身の被爆体験と平和への取組について講演される予定です。

本学を始めとした国内外の学生たちが、プログラム修了後に、平和の重要性を深く理解し、グローバル社会で活躍する平和の担い手として世界各地にその思いを広げていくことが期待されます。

●「Peace Study Tour 2025」実施プログラム

使用言語：英語、開催場所：東広島キャンパス、広島市等

	プログラム名	開催期間	テーマ
①	INU 学生セミナー	8/2～10	核軍縮と核不拡散
②	広島大学 & 笹川平和財団（※1） & コロンビア大学共同サマーコース	8/2～10	自然資源管理における対立と協力 - 積極的平和とSDGs
③	文部科学省「大学の世界展開力強化事業（※2）」（アメリカ）：日米ジョイントサマープログラム	8/2～11	未来の仕事と社会における人工知能の役割

④	文部科学省「大学の世界展開力強化事業（アジア）」：キャンパスアジア+サマースクール	8/19～27	インクルーシブ・マインドを醸成するアジア地域国際協働人材育成
⑤	文部科学省「大学の世界展開力強化事業（EU）」：サマーコース	8/19～9/3	海洋・海事分野における AI 活用
⑥	文部科学省「大学の世界展開力強化事業（インド太平洋）」：AGILE Workshop	9/1～12	循環型経済

※1 笹川平和財団：国際交流および国際協力の推進を目的として、日本財団およびモーターボート競走業界の支援を受けて 1986 年に設立された財団。国際社会の課題解決に向け、必要な事業を幅広く実施・支援している。

※2 大学の世界展開力強化事業：グローバル人材育成や大学の国際展開力強化を目的に、日本人学生の留学促進や外国人学生受入れを支援する文部科学省の事業で、毎年度、戦略的に重要な国や地域が対象として設定される。

<Peace Study Tour 過去の実施状況>

【第1回】 開催日：2023 年 7 月 31 日～8 月 11 日

海外大学からの参加人数（国）：79 人（15 か国）

【第2回】 開催日：2024 年 8 月 1 日～28 日

海外大学からの参加人数（国）：115 人（17 か国）

<過去に実施した Peace Study Tour の様子>



<取材について>

メディアの方は、すべてのプログラムについて、傍聴、撮影、および講師・参加学生へのインタビューが可能です。

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部留学交流グループ（担当：梅下、高）
TEL:082-424-4550、6182 FAX:082-424-4545



令和 7 年 6 月 23 日

デジタルものづくり教育研究センターにおける被爆 80 年企画
PRIDE of HIROSHIMA スピンオフ
広島大学×マツダ 被爆からの復興 80 年写真展を開催します

広島大学とマツダ株式会社は、積み重ねてきた共同研究の実績をもとに 2011 年に包括的連携協定を締結し、現在、多くの研究者により多方面にわたる共同研究に取り組んでいます。

広島中央サイエンスパークに所在するデジタルものづくり教育研究センターは、広島県も含め、広島大学・マツダ・広島県の三者の産学官連携により、カーボンニュートラルを目指した大型事業（内閣府補助金による「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」）を 2019 年から実施しています。

今年は被爆 80 年にあたり、これまで以上に過去を見つめ直す機運が高まっています。広島大学は前身諸学校が原爆の惨禍を乗り越え、フェニックス（不死鳥）を大学の象徴として新制広島大学として発足した歴史があります。マツダもまた戦後早い時期に、新しい三輪トラックの新造に取り組み「プライドオブヒロシマ」というフレーズのもとに売り出しました。

これを踏まえ、それぞれの歴史を復興の物語としてアーカイブ資料によって視覚化したうえで、さらに現在から未来に向け、最新の研究成果も含めた展示を行う企画展を開催します。

なお、ゲートパークで常設展示を行っている「プライドオブヒロシマ」展示のスピンオフ企画として開催いたします。

開催期間：7 月 25 日（金）～8 月 21 日（木）

（平日の 9:00～17:00 開催。8/9～8/17 は休み）

場 所：広島大学デジタルものづくり教育研究センター

デジタルものづくりイノベーション拠点 1F

（東広島市鏡山三丁目 10-31）

内 容：（写真展示）広島大学の歴史

（写真展示）マツダ株式会社の歴史

（研究成果の展示）主としてマツダから特任教授として本学に出向している西川一男特任教授のグループによる研究成果の展示

主 催：広島大学デジタルものづくり教育研究センター

参加申込み：不要

入 場 料：無料

取 材：展示内容の撮影可能。駐車場有。取材時は下記へご連絡ください。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携部 産学連携担当主幹 羽田（ハタ）

[TEL:080-7608-0860](tel:080-7608-0860)

[Mail:syakai-dejital@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:syakai-dejital@office.hiroshima-u.ac.jp)

デジタルものづくり教育研究センター被爆80年企画

Pride of Hiroshima スピンオフ

広島大学 × マツダ

被爆からの復興80年写真展

展示期間／

2025年7月25日(金)～8月21日(木)

9:00～17:00

(平日のみ開催、8/11～8/15はお休み)

展示場所／

広島大学デジタルものづくり
教育研究センター

デジタルものづくりイノベーション拠点

1F オープンイノベーションホール

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目10-31(詳しいアクセスは裏面へ)

展示内容／

年表パネルのほか、広島大学・マツダ各20枚程度の写真パネルを
展示するとともに、現在の共同研究の内容・成果などの展示および
広島大学の紹介動画や関連する動画を上映。

お問い合わせ先／

広島大学デジタルものづくり教育研究センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目10番31号 電話(082)430-8513

入場無料

キリ番来場者
(100番毎)の方、
ひろティーぬいぐるみを
プレゼント!
数量限定 品切れの際は
ご容赦ください。

Pride of Hiroshima スピンオフ 広島大学×マツダ 被爆からの復興80年写真展

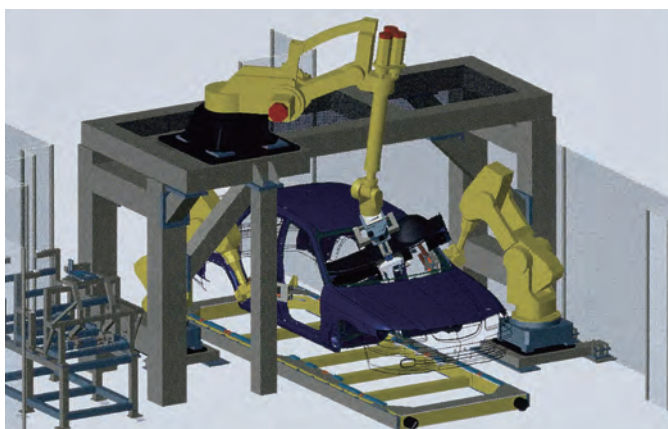
この企画展では、それぞれの歴史をアーカイブ資料によって視覚化したうえで、さらに現在から未来に向けて最新の研究成果の展示も行うことしました。
この展示により、広島大学とマツダの過去から現在、そして未来に続く活動への理解の一助となることを願っています。

展示 内容

広島大学 の歴史



マツダ の歴史



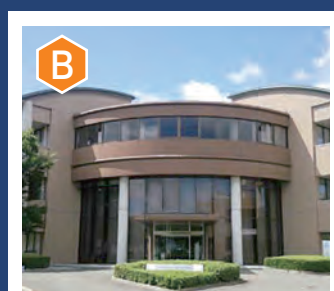
広島大学とマツダがつくる未来



デジタルものづくりイノベーション拠点

広島大学デジタルものづくり 教育研究センター

デジタルものづくりイノベーション拠点
1F オープンイノベーションホール
〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目10-31



ひろしま産学共同研究拠点



テストベッド



第 180 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 1

令和 7 年 6 月 23 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」の取り組みに関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線 (UV) 領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取り組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 灰野岳晴 教授が「Molecular Chirality Award 2025」を受賞しました。

J-PEAKS の重点拠点の一つである持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点 (WPI-SKCM²) の灰野岳晴教授が、分子のキラリティ[※]に関する先駆的な研究により、国際的に権威ある「Molecular Chirality Award 2025」を受賞しました。本拠点は、エネルギー・資源の枯渇、難治性の疾患など、多くの問題を解決するグリーンテクノロジーや医療イノベーションの創出に資することが期待されており、灰野教授は、電子デバイスや医用材料など様々な分野に応用できる素材 (次世代機能性材料) の開発に大きく貢献しています。本学は、J-PEAKS を通じて、卓越した研究拠点間における連携・異分野融合研究を推進し、新たなイノベーションを創出することを目指しています。



【※用語説明】

キラリティ：対掌性。右手と左手の関係のように鏡像が互いに重ならない物質の状態 (右図)。分子の形や構造に関する性質で、たとえば医薬品の効き方の違いに関わるほか、電子デバイス等の材料として使われる高分子では、キラリティの違いによって電気や光に対する応答が変わるなど、物質の特性に大きく影響を与えることがある。



(2) AMED「次世代がん医療加速化研究事業」に採択されました。

免疫学・保田朋波流教授らの研究課題が、日本医療研究開発機構 (AMED) の令和 7 年度「次世代がん医療加速化研究事業」に採択されました。

近年、抗腫瘍免疫を活性化する医薬が実用化され、優れた臨床成績を上げていますが、これらの医薬を用いても十分な効果を示せないがんが多く、新たな治療戦略の開発が求められています。本課題では、がん細胞の免疫原性を高める新技術を活用し、第一段階として根治困難なスキルス性胃がんの新たな治療方法の開発を目指します。

本研究は、J-PEAKS が重点領域と位置づける「再生・細胞医療・創薬分野」における研究・イノベーションを加速させ、がん免疫療法の新たな地平を拓くとともに、次世代医療の実現に大きく貢献することが期待されています。

研究開発課題名：

難治性がんを克服するがん抗原提示細胞化 mRNA 療法の開発

支援金額： 20,000 千円/年 程度

支援対象期間： 2 年間

(3) Town & Gown 構想「海洋文化都市くれ海博 2025」を開催しました。

呉市と広島大学が連携し、地域の魅力を伝える「海洋文化都市くれ海博 2025」を開催しました。

VR 動画による自動車運搬船内見学や水中ドローン操作など貴重な体験ができるブースや、「海×宇宙のイノベーションを呉で起こそう！」と題した JAXA（宇宙航空研究開発機構）の研究者による子ども向けのクイズ形式の講演、学生主体の催しなどが実施され、当日は 8,000 人超が来場。J-PEAKS が目指す、大学の研究・教育力と地域の魅力を融合させた“Town & Gown 構想”の好事例として、学び・体験・交流を通じた地域共創の新しいかたちを提示しました。



(4) 米国アイダホ大学と半導体学士プログラムの設置に関する協定を締結

本学と米国アイダホ大学は、半導体分野に特化した国際学士プログラム「Microchips Engineering & Security Alliance (MESA)」の設置に関する協定を締結しました。



本取り組みは、

- ・工学分野での米国大学の日本校設置として国内初
- ・半導体分野に特化した日米連携による学士プログラム設置としても国内初となります。すべての授業を英語で実施し、学生は日本（広島）と米国で各 2 年間学びます。2026 年 8 月からの受け入れを予定しており、長期的・持続的にイノベーションを生み出す土壌となる国際的な教育・研究活動における学生の交流を推進します。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略グループ 前田 TEL:082-424-5656 Mail:gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



令和 7 年 6 月 23 日

小中学生のための先端科学体験セミナー 広島大学放射光科学研究所での夏休みおもしろ科学体験！

広島大学放射光科学研究所は、電子をほぼ光の速さまで加速させるための「シンクロトロン」という大きな円形の加速器を用いて、放射光という明るい光を発生させ、物質の性質は何から生まれてくるのか？ その源は何か？ に迫る研究に取り組んでいます。

このたび、近い将来の社会を担う小中学生のみなさんに科学技術への興味と関心を誘い、その重要性を体感して頂くことを目的に、「先端科学体験セミナー」を開催いたします。先端研究施設の見学、研究に関連した「おもしろ実験」、研究体験などさまざまな企画をご用意して、みなさまのご参加をお待ちしています。

◆開催日

	開催日 ＜申込期限＞	対 象	内 容
①	7 月 27 日（日） ＜7 月 22 日（火）＞	小学生とその保護者	講義・施設見学・体験活動 （詳しい内容はチラシをご参照ください）
②	8 月 3 日（日） ＜7 月 22 日（火）＞	小学生とその保護者	
③	8 月 5 日（火） ＜7 月 22 日（火）＞	中学生	

◆会場：広島大学放射光科学研究所（東広島市鏡山 2-313）

◆参加費：無料

◆定員：①②保護者を含め各回 15 組、③20 人

◆事前申込：必要（チラシに記載の二次元コードよりお申し込みください）

◆主な観察・体験内容

- ・ マイナス 196 度の液体窒素を用いた、空気の雫の変化について
- ・ 液体窒素を用いた風船の膨らみ具合の変化について
- ・ 超伝導材料や加速器を使った磁力と腕力の力比べ
- ・ 透明なビーズを使った虹のシート創作実験
- ・ 「光の色」をテーマにした、絵画の色彩探究
- ・ アクリル絵の具や蓄光絵の具などの画材を用いた創作体験

<取材について>

- すべての開催日について取材が可能です。
- 撮影される際は、参加者の了解も必要になりますのでその場でお声かけください。
- 放射光科学研究所の研究棟前の駐車場をご利用いただけます。8月5日(火)は建物周辺の駐車場が混雑していることが予想されます。その際は、中央ゲートから入り、構内の駐車場をご利用いただくことも可能です。

<広島大学放射光科学研究所とは>

広島大学放射光科学研究所に設置されている小型放射光源「HiSOR（ハイソー）」は、紫外線から軟 X 線にかけての領域にわたる高輝度な放射光を安定的に供給しています。この放射光を用いることで、最先端の測定技術による物質科学の研究が進められています。ナノテクノロジーや材料開発、環境科学、医療応用など、さまざまな分野で不可欠な研究手段として利用されており、本研究所はその活用と技術発展を支える国内の中核拠点として重要な役割を果たしています。

国内の放射光施設の多くが大規模な共同利用型である中、HiSOR は国立大学に附置された施設として、教育・研究の現場と密接に連携しながら運用されています。そのため、学部学生から大学院生、若手研究者に至るまで、日常的に高度な実験環境を活用できる、全国的にもきわめて貴重な研究教育の場となっています。

さらに本研究所では、国内外の研究者と連携して先端研究を進めるとともに、地域の小・中・高校生に向けて科学の魅力を伝える体験型のイベントなども行い、放射光科学の普及と次世代人材の育成にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ先】

放射光科学研究所 事務室 FAX:082-424-6294 E-mail: hisor@hiroshima-u.ac.jp

夏休み おもしろ科学体験

小中学生のための先端科学体験セミナー
—放射光科学研究所での科学体験—

光って何だろう？ 放射光って何？

見て、触って 作って感動

わくわく体験に

Let's Go!

アドバンストな研究体験をしよう!

日時 : 令和7年7月27日(日)(小学生) 申込締切7月22日(火)
8月3日(日)(小学生) 申込締切7月22日(火)
8月5日(火)(中学生) 申込締切7月22日(火)
受付9:30 演示 10:00~12:00

会場 : 広島大学放射光科学研究所

内容 : 先端科学体験セミナー (講義・施設見学・研究創作体験活動)

参加費 : 無料

対象 : 小学生(保護者同伴、各回約15名以内)、中学生(各回約20名以内)

事前申込 : 研究所のホームページで募集内容を確認の上、募集締め切り期日までにwebのフォームよりお申し込みください。応募数が4名以上で開催となります。申し込みされた皆様には、締切後に詳細をご連絡します。QRコードを読み取り申し込みください。



7月27日、8月3日
小学生の申し込み



8月5日
中学生の申し込み



※関連 URL (広島大学放射光科学研究所) <http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp>

主催



広島大学放射光科学研究所

後援



日本物理学会中国支部



日本放射光放射光学会



日本加速器学会



詳しくは
ホームページ
で確認してね



日本 STEM 教育学会



広島県教育委員会



広島市教育委員会



東広島市教育委員会



福山市教育委員会



第 180 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 3

令和 7 年 6 月 23 日

広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備工事起工式を行いました

広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備工事がこの度着工することとなり、下記のとおり起工式を行いました。本拠点は経済産業省の「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に大学では唯一採択されたものとなります。

記

日 時 令和 7 年 6 月 23 日（月）13 時 45 分～14 時 30 分
場 所 広島大学霞キャンパス 薬学部研究棟東側
（広島県広島市南区霞一丁目 2 番 3 号）

【広島大学ワクチン・医薬品製造拠点整備事業】

本事業は、次の有事の感染症パンデミックにおけるワクチンや次世代の革新的な治療薬の製造を行う施設を整備するものです。

＜本事業の背景・ポイント＞

- 感染症有事の際には、速やかに産学官が連携してワクチンを開発し、有効性及び安全性が確保されたワクチンを製造することで、必要なワクチン量を確保することが政府の行動計画に定められています。
- また、平時からの創薬では、治験薬の少量生産が国内では困難なことやアカデミアシーズの開発を初期段階から支援する仕組みが少ないことなどが、「創薬の死の谷」と呼ばれ、創薬スタートアップが成長できない原因となっています。
- そのため、本事業では霞キャンパスに治験薬製造施設を整備します。
- 平時には、治験のために少量での原薬や製剤の提供が可能です。日本では少量製造が可能な施設が少なく、アカデミアやスタートアップ企業が治験を実施する際、大きな壁となっていることにソリューションを提供します。
- さらに、感染症有事には、国からの要請・指示に基づき、感染症ワクチンの治験薬を生産・供給することとなっています。
- このように平時にはワクチン以外の医薬品の製造が可能であり、感染症有事にはワクチンの製造が可能な両用性のある設備（デュアルユース設備）として、国内でも希少な拠点となります。

- ・ 2026 年（令和 8 年）9 月 竣工 予定
- 2027 年（令和 9 年）運用開始 予定

- ・ 地上 4 階 鉄骨構造
- ・ 建築面積 640.84 m²
- ・ 延床面積 2564.12 m²
- ・ 全体事業費 約 50 億円
- ・ 設計 株式会社アーキサイエンス
- ・ 施工

建築 鹿島建設・サンケイビルテクノ共同企業体

モジュール 日立グローバルライフソリューションズ株式会社



なお、本事業は経済産業省による「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」の交付決定を受けて実施しています。同事業は、今後の変異株や新たな感染症への備えとして、平時は企業のニーズに応じたバイオ医薬品を製造し、有事にはワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース設備を確保するものです。また、ワクチン製造に不可欠な製剤化・充填設備や、医薬品製造に必要な部素材等の製造設備への支援も行われています。

また、本事業では、日本学術振興会のJ-PEAKS（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）の支援により推進体制の強化を進めており、広島大学では今後も、本支援により創薬研究を推進していきます。

【お問い合わせ先】

広島大学産学連携企画グループリーダー 松井
Tel：082-424-4313

